

**令和7年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（農業土木）】

専門論文試験課題**

<課題>

本県農業は、畜産や施設園芸を中心とした収益性の高い農業を展開しており、令和5年の農業産出額は3,720億円（全国第6位）と全国有数の食料供給県となっており、県外から所得を産み出す基幹産業として、県内経済でも重要な役割を果たしています。

一方、農業を取り巻く情勢は、担い手の減少・高齢化といった構造的課題に加え、激甚化する気象災害や地震災害、家畜伝染病などの発生、スマート農業に代表されるようなICT技術の進展など目まぐるしく変化しているところです。

このような中、国は令和6年に「食料・農業・農村基本法」を改正し、食料安全保障の確保や農業の持続的発展などの基本理念のもと、農業土木分野では、ほ場整備や農業水利施設の整備に加えて、これまでに整備した農業用インフラの保全、防災減災・国土強靱化などに取り組むこととしています。

これらの背景を踏まえ、「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現に向けて、農業土木技術者としての観点から解決すべき課題を2つ以上挙げた上で、その課題解決に向けてどのように取り組むべきか、あなたの考えを述べてください。